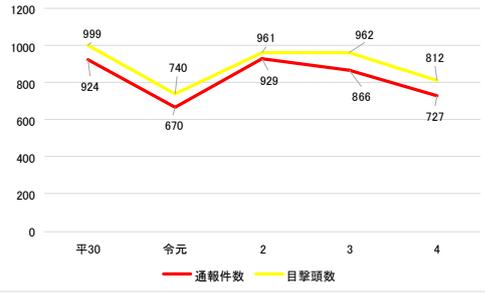


生活安全部 生活安全部の統計資料はこちら

地域課

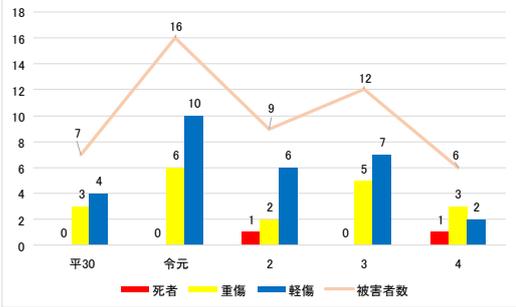
区分\年次	平30	令元	2	3	4	増減数(人)	増減率(%)
通報件数	924	670	929	862	727	△ 135	△ 15.7
目撃頭数	999	740	961	958	812	△ 146	△ 15.2
人身被害件数	7	14	8	12	6	△ 6	△ 50.0
被害者(人)	7	16	9	12	6	△ 6	△ 50.0
死者	0	0	1	0	1	1	—
重傷	3	6	2	5	3	△ 2	△ 40.0
軽傷	4	10	6	7	2	△ 5	△ 71.4

クマの通報件数・目撃頭数(過去5年分)



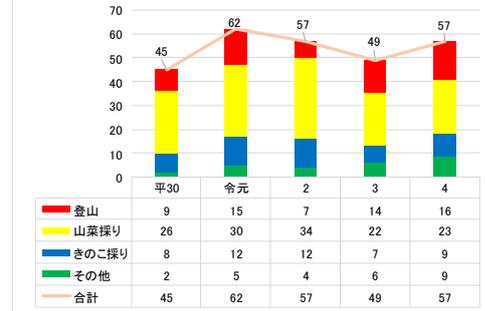
令和4年中のクマ関連の通報件数は727件、目撃頭数は812頭であり、前年比では通報件数が135件減少し、目撃頭数が146頭減少しました。

クマによる人身被害件数(過去5年)



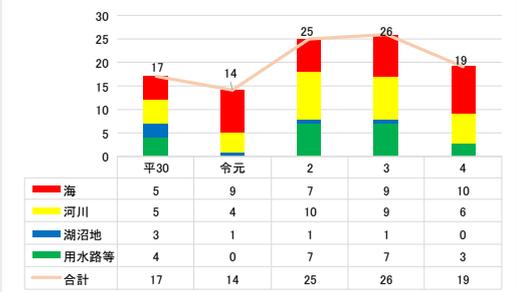
令和4年中のクマによる人身被害は6件(6人)であり、前年比では6件(6人)減少しました。

山岳遭難発生状況・目的別(過去5年)



令和4年中の山岳遭難は57件発生し、うち山菜採りによる遭難が23件で全体の40.4%を占めています。

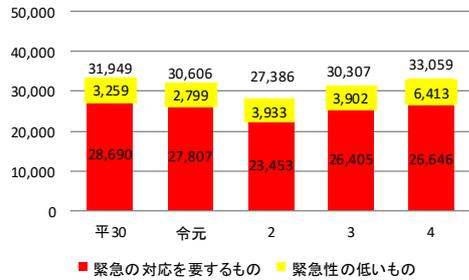
水難事故発生・場所別(過去5年)



令和4年中の水難は19件発生し、うち海と河川での事故が16件で全体の84.2%を占めています。

通信指令課

110番受理件数(過去5年)



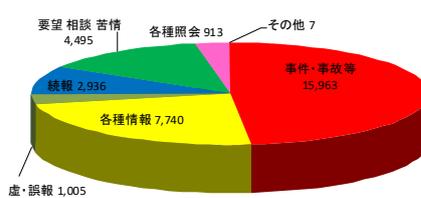
令和4年中の110番受理件数は33,059件で、前年比で2,752件増加しました。

携帯電話の推移(過去5年)



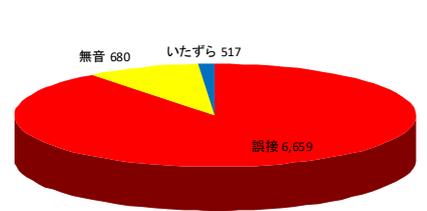
有効110番受理件数33,059件のうち、携帯電話等移動電話からの受理件数は25,955件で全体の78.5%を占めます。

有効受理件数内訳(令和4年)



受理件数のうち、事件・事故等に関する通報が15,963件と最も多く全体の48.3%を占めます。

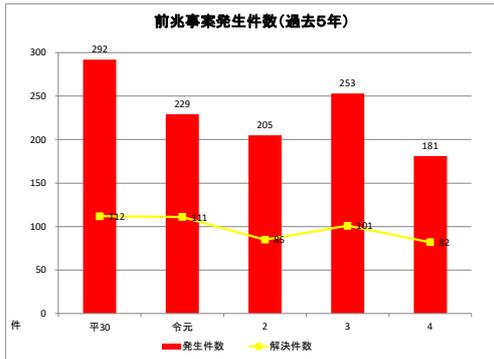
非有効受理件数内訳(令和4年)



令和4年中の非有効受理件数のうち、誤接が6,659件と最も多く全体の89.5%を占めます。

人身安全対策課

前兆事案に対する先制・予防的活動



発生件数は平成29年以降200件を超えて推移していましたが、令和4年中は前年より72件(28.5%)減少しています。解決件数は発生件数の増減に合わせて推移しています。

非行少年等の検挙・補導状況(過去5年)

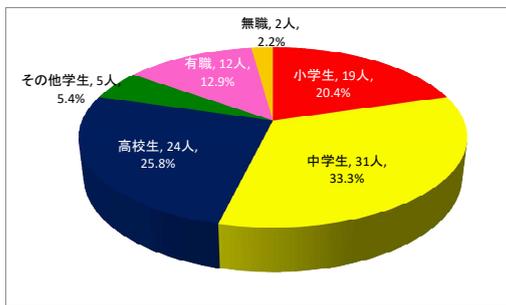
区分	年次					
	平30	令元	2	3	4	
非行少年	総数	118	106	100	120	93
	犯罪少年	21	20	17	23	15
少年	触法少年	84	71	60	77	56
	ぐ犯少年	13	12	13	16	9
	触法少年	32	34	38	41	37
	ぐ犯少年	6	7	4	6	6
不良行為少年	2	1	2	2	0	
	2	1	0	1	0	
不良行為少年	668	565	589	562	666	
	203	198	179	170	215	

犯罪少年：罪を犯した14歳以上20歳未満の者
 触法少年：刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の者
 ぐ犯少年：将来、罪を犯し、または刑罰法令に触れる行為をするおそれのある20歳未満の者
 不良行為少年：飲酒、喫煙、深夜はいかい等自己又は他人の特性を害する行為をした者

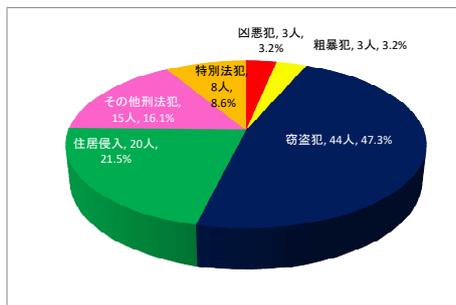
令和4年中の非行少年は93人で、前年に比べ27人(22.5%)減少しています。非行少年が100人以下となったのは、昭和51年(1976年)から統計史上初めてです。飲酒、喫煙や深夜はいかい等で補導された不良行為少年は666人で、前年に比べて104人(18.5%)増加しています。

※下段は女子で内数

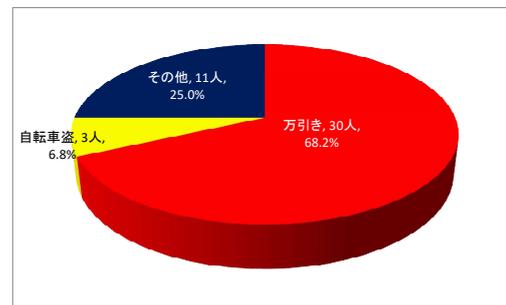
令和4年中の少年非行の主な特徴



非行少年の学職別

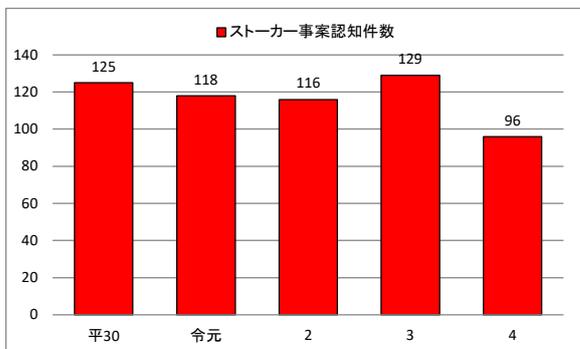


非行少年の罪種別等



窃盗犯の内訳

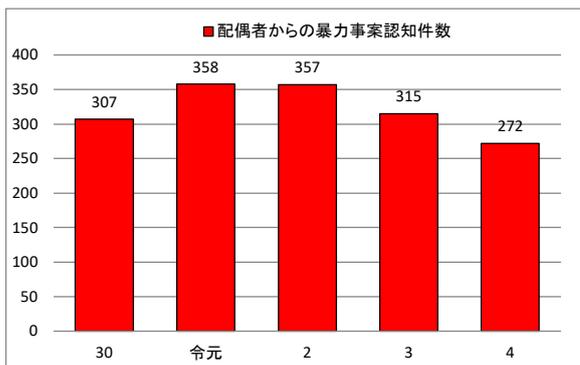
非行少年は、学職別で中学生が最も多く31人、次いで高校生が24人となっており、高校生、中学生で全体の59.1%を占めています。非行少年の罪種別では、窃盗犯として検挙・補導された少年が非行少年全体の47.3%を占めており、そのうち万引きで、検挙・補導された少年は、68.2%です。



令和4年中におけるストーカー事案の認知件数は、96件で前年より33件(25.6%)減少しました。しかし引き続き高い水準にあります。

区分	検挙件数	検挙方法		警告	禁止命令
		ストーカー規制法検挙	他法令検挙		
平30	17	9	8	2	2
令元	17	10	7	2	9
2	15	9	6	1	7
3	21	11	10	2	5
4	16	6	10	7	12
前年比	△5	△5	0	△1	8

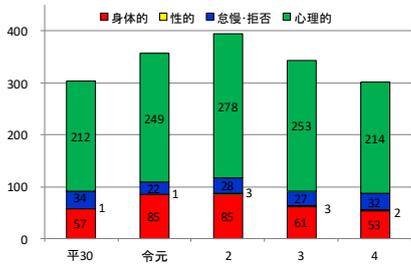
令和4年中における検挙件数は16件と、前年より5件(23.8%)減少しました。ストーカー規制法検挙は6件と、前年より5件(45.5%)減少しました。他法令検挙は10件で、前年と同数でした。警告は7件で、前年より18件(72%)減少しました。禁止命令は12件で前年より2件(20%)増加しました。



令和4年中における配偶者からの暴力事案の認知件数は272件と前年より43件(13.7%)減少しました。平成20年に初めて100件を超え、これ以降増加傾向にあり、平成25年の409件をピークに高止まりにあります。

区分	検挙件数	検挙方法		保護命令
		DV防止法検挙	他法令検挙	
平30	20	0	20	10
令元	14	2	12	12
2	8	0	8	13
3	13	1	12	6
4	8	0	8	5
前年比	△5	△1	△4	△1

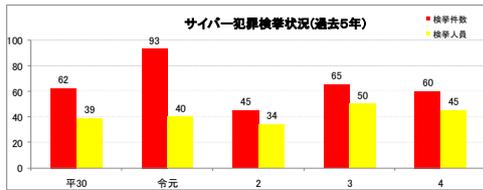
令和4年中における検挙件数は8件で、前年より5件(38.5%)減少しました。DV防止法検挙はありませんでした。他法令検挙は8件で、前年より4件(33.3%)減少しました。保護命令は5件で、前年より1件(16.7%)減少しました。



令和4年中における児童虐待として通告した児童は、301人で前年より43人（12.5%）減少しました。

区分\年次	平30	令元	2	3	4
通告人員（人）	304	357	394	344	301
身体的虐待	57	85	85	61	53
性的虐待	1	1	3	3	2
怠慢・拒否	34	22	28	27	32
心理的虐待	212	249	278	253	214

サイバー犯罪対策課



県内における令和4年中のサイバー犯罪の検挙件数は60件で、前年に比べ5件（7.7%）減少し、検挙人員は45人で、前年に比べ5人（10%）減少しました。